

目標達成計画

作成日: 平成 25年 8 月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の方々との交流が少なく、日常的に関わりが出来ていない。	ホームから働きかけていき、馴染みの関係を構築して、地域の方々との日常的に交流ができるようにする。	散歩等の外出時、出会った方に挨拶をして気軽に会話ができるように働きかける。また、自治会のふれあい喫茶等の催しにも参加し、馴染みの関係ができるように働きかける。	6ヶ月
2	35	避難訓練を行っているが、地域の参加が少ないので、ホームの現状を発信出来ていない不安があり、災害時の協力体制が取れていない。	地域の方々からの協力があり、訓練に参加していただき非常災害時の協力体制が図れる。	避難訓練の案内を早い段階で発信していく。運営推進会議を通して、協力を呼びかけていく。避難訓練での地域の方の協力内容を職員が理解し、迅速に訓練が進むようにする。	12ヶ月
3	47	確実な服薬支援ができているかの確認ができていないようで床に薬が落ちていたなどがみられている。	全職員が薬の目的、用法を理解して服薬支援ができる。	利用者一人ひとりの薬の内容表作成し、いつでも確認できるようにしておき、職員が理解できるようにする。 服薬前に口腔内に食物が残っていないか確認してから服薬援助を行い、服薬後は確実に飲めたか確認する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。